

ミリカ2024年10月10日(木)掲載

子育ての悩みに寄り添う絵本

## 子育てと絵本 vol.35

# こんな時こんな絵本 その7 「うちの子、のりもの好きすぎる。そればかり!」

保護者の方から、年齢に応じた遊びや玩具についての相談は多く寄せられます。その中でも、車ばかり、怪獣ばかり、ままごとばかり、大丈夫? など、「同じ玩具や同じ遊びばかり! もっといろんな遊びをしてほしい。たくさん経験してほしい」といった声はよく聞かれます。

同じ遊びをしているように見えても、子どもたちが考えていることや思っていることは日々異なりますし、遊びの内容は発展しています。好きなことを自分で選んで遊び込める環境で、自分のやりたい遊び、好きな遊びを思いきりさせてあげたいものです。

好きな遊びはひとりひとり違います。好みの玩具や玩具も子どもそれぞれ、違って当たり前。絵本にも好みは出てきます。一番は自分が好きなこと、好きなものを見つけること。その好きなものもまた変化します。

絵本「くろくんとふしぎなともだち」。「ぼく、さんぽにいくつくるね!」、とつとつとつとあるいていくと……。バスや船、新幹線など子どもたちの大好きな乗りものが色鮮やかに登場。動き出すのりものたちとの遊びを想像してドキドキハラハラ。予想もしなかった展開のあとには、安心の世界で心がほんわか。

「しゅっぱつしんこう!」。ときゅうれっしゃ しゅっぱつしんこう!、きゅうこうれっしゃに のりかえます。きゅうこうれっしゃ しゅっぱつしんこう!、ふつうれっしゃに のりかえます。ふつうれっしゃ しゅっぱつしんこう!。電車の継ぎの旅。山の中の小さな駅に着くまでを、電車の走る道や車窓からの景色まで、細かく丁寧に描かれています。初版から40年のロングセラー絵本。子どもたちには、選ばれ読み継がれた絵本を与えたいものです。絵本の世界で心が躍り、想像の世界で爽快感も味わえます。

ときでん交通のバスや長い歴史の路面電車。子どもたちが大好きなのりもので、高知の街並みをゆったり窓越しに眺めながら、家族で秋探しに出かけるのもいいですね。

### 今回ご紹介する絵本



くろくんとふしぎなともだち  
作・絵 なかや みわ  
童心社



しゅっぱつしんこう!  
作 山本 忠敬  
福音館書店

子育てひろっぱ「めぐみ」代表 弘田 恵子

1998年から20年間高知市内の「めぐみ保育園」で園長を務め、現在は妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)。絵本専門士(国立青少年教育振興機構認定)。絵本講師(NPO法人「絵本で子育て」センター認定)。上級睡眠健康指導士。アンガーマネジメントファシリテーター